

『道の駅ましこ』で自衛隊広報展を開催 ～陶器市帰りの来場者、自衛隊の魅力を体験～

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 古川 3 陸佐）は、11月3日（日）、秋の陶器市で賑う栃木県益子町の『道の駅ましこ』にて自衛隊広報展を開催した。この広報展は、地域の特産品や観光情報を発信する場として知られる道の駅の駐車場で開催し、同日益子町で開催されていた『益子秋の陶器市』に訪れた後に立ち寄った観光客なども含め、県内外からの大勢の来訪者で賑わった。（陶器市の来場者は期間中約16万8千人）

秋晴れの「文化の日」であった当日は、中央即応連隊の軽装甲機動車、偵察用オートバイの展示により華やかでインパクトのある広報展となった。広報展では、制服試着や射的コーナーを設け、多くの親子連れで賑わった。また、防衛協会真岡支部が自衛隊グッズの販売を行い、迷彩柄の服飾雑貨や自衛隊仕様のお菓子等を購入する来場者は、「この商品は隊員さんが実際に使用されているものですか？」等の質問や、「宇駐人くん（宇都宮駐屯地マスコットキャラクター）クッキーのネーミングとイラストが面白いですね」と、グッズ販売を通じて自衛隊に興味関心を持っていた

多くの方が来場された。装備品展示では迫力ある軽装甲機動車を前に、自衛官と一緒に写真撮影をするなどの交流を図る様子が見られた。陶器市から帰る途中に立ち寄ったという家族連れからは、「陶器市で素晴らしい作品を見た後に、道の駅という、意外な場所。で自衛隊の展示を見ることができたのは新鮮でした。自衛隊の任務や活動を知るよい機会となりました。子供たちも試乗や射的コーナーで楽しむことができてよかったです」と感想を述べていた。

真岡募集案内所は、「道の駅を代表とする人気スポットでの広報展は、観光客や地元住民が集まるため、様々なライフスタイルを持つ幅広い世代の方々と直接対話ができる機会を得ることができる。今回訪れた方々は、普段はあまり見ることのない自衛隊の装備品や活動内容に興味をもち、楽しみながら関心を寄せてくれた。今後も、多くの人々に自衛隊の魅力伝えるために、地域の観光レクリエーション施設での広報展を継続開催していく」としている。



軽装甲機動車の前で記念撮影をする来場者たち



「秋の益子陶器市」の帰りに立ち寄る来場者で賑わった

射的コーナーの様子